

青梅市

いいまちはいい学校をつくり いい学校はいい人を育てる

子供が学びやすく、先生が働きやすい環境

全校に電子黒板を設置

児童・生徒一人一台端末の導入に合わせ、電子黒板も導入し始めました。現在では、特別支援学級を含め全ての学級に配置しています。子供たちは、随時、写真や動画などで視覚的に捉えながら学ぶことができます。教員からも、手軽に資料提示等ができるようになったと好評です。ICT機器を効果的に活用し、主体的、対話的で深い学びの実現に努めています。



教育活動をサポートする多様な人材の配置

●学校教育活動支援員

入学当初等、落ち着かない児童等の支援をしています。

●スクールサポートスタッフ

教員でなくても可能な業務をサポートしています。

●登校支援員

不登校児童・生徒が学校に通えるよう家庭訪問などをして支援しています。

他にも様々な人材を配置し、支援の充実を図っています。

青梅の自然、伝統文化を生かして

魅力ある青梅の教材

青梅では、自然や伝統文化など、地域の魅力ある教材を生かした様々な学習を行っています。

●自然

東京都で5番目に広い面積を有し、その65%は豊かな森林です。市の西部には、秩父多摩甲斐国立公園に指定された美しい山並みや御岳渓谷を有しています。

●伝統文化

青梅では、旧石器時代、縄文時代の遺跡が数多く発見されています。また、塩船観音寺、武蔵御嶽神社の他、多数の寺社が古くから建立されたり、市立美術館の他、玉堂美術館、吉川英治記念館なども整備され、各種の伝統文化が継承されています。



地域とともに

コミュニティスクール

令和3年度からコミュニティスクールを導入し始め、令和7年度からは全校実施となりました。これからの学校は、地域との連携が欠かせません。学校と地域が共に活性化する連携を目指しています。